

いつまでも
ペットと一緒に



すべてオーダーメイド 犬用車椅子・歩行器の制作販売『工房スイーピー』

丈夫で歩きやすい。安心・安全・低価格がモットー、
ワンちゃんにも飼い主さんにも優しい車椅子工房です。

「工房スイーピー」は、制作担当の川西英治さん、代表で動物介護士・看護師の仁美さんご夫婦が営まれるワンちゃん専用の車椅子・歩行器の工房。

2013年の開業以来8年間で3000台を制作、販売。日本各地からはもちろん海外からも注文が入り、テレビ、新聞などメディアからの取材申し込みも絶えない人気工房です。

閑静な住宅街の一角にある工房の入口を開けて、まず目に飛び込んでくるのは、壁一面のワンちゃんたちの写真。どの子も生き生きとして、本当に嬉しそう。見ているこちらにも思わず笑顔になります。オーダーメイドの車椅子によって、自分の力で歩く喜びと楽しさを取り戻したワンちゃんたちの姿です。

車椅子作りは、まず飼い主さんから日ごろのワンちゃんの症状、生活習慣などを丁寧に聞き取ることから始まります。次にワンちゃんには「試乗車」に乗ってもらいます。「試乗車」は2輪車、4輪車ともさまざまなサイズのものを用意されていて、ワンちゃんの大きさ、体の状態に合わせて試すことができます。その動きを確かめながら細かく採寸。一頭一頭にぴったりと合った車椅子ができあがるのです。

車椅子の構造はシンプル。アルミ棒の枠に車輪がついていて、動かなくなった足を二つに分かれた枠に入れ（足が痛くならないように、柔らかい素材で包まれています）、持ち手にあたる部分をベルトでワンちゃんの胴に固定して、元気な前足で地面を蹴れば進みます。頑丈で、後からオプションの部品もつけやすく、しかも標準的なもので2万円前後という低価格（小型犬・中型犬用、2輪車の場合）。ワンちゃんにも飼い主さんにも優しい車椅子です。

歩行困難になった愛犬スイーピーのために 手探りで創ったのがきっかけで…。

英治さん、仁美さん夫妻がワンちゃん専用車椅子を作るきっかけとなったのは、愛犬スイーピーちゃん（ダックスフンド）が8歳で椎間板ヘルニアに罹り、歩行困難になったこと。動物病院を通じて車椅子を購入するも体に合わず、スイーピーちゃんは装着を嫌がりました。夫妻は懸命にスイーピーちゃんに合う車椅子を探します。ところが、「ネットで調べて、ええなあと思ったら30万円。通院して手術もして、それまでにたくさんお金がかかっている。正直きついなと思いました」（仁美さん）

ワンちゃんの車椅子は市販されており、ネット通販でも購入できますが、サイズの種類は限られ、価格も高め。

「ぴったりのものがないのなら、手作りしよう」。それからお二人の試行錯誤が始まります。

「もともと病院から買った車椅子があったから、構造とか材料



とかは何となくわかるんやけど、どんな道具を使ったらええのか、どうやって加工するのか、もう何もかも手探り」（英治さん）

一番苦労されたのはアルミパイプの加工だったとか。体に沿ったカーブを作るために四苦八苦、何本もアルミパイプを折ってしまわれたそうです。

「何度も材料を買い替えて、道具もいろいろ揃えて…。結局30万円かかってしまった」と笑うお二人。

それでも手作りの車椅子で駆け回るスイーピーちゃんを見て、嬉しさに感極まって大号泣されたそうです。車椅子で元気に散歩するスイーピーちゃんの姿は近所で評判となり、歩けなくなったワンちゃんの飼い主さんから制作を頼まれました。

「スイーピーが歩けるようになったのがホンマに嬉しかったから、他にも困ってる飼い主さんたちがいるんやったら、ちょっとでもお手伝いできたらええなと思って」とホームページを立ち上げ紹介したところ、どんどん注文が入るようになります。

もともと違うお仕事をされていたお二人ですが、これを機に車椅子制作・販売を仕事にと「工房スイーピー」を立ち上げました。その時、「ただ車椅子を売るだけやったらアカン。商品にするからには『責任』をつけんとダメやと思ったんです」（仁美さん）『責任』、それはワンちゃんの体の状態を的確に判断し、体に負担をかけないぴったりの車椅子を提案すること。介護する飼い主さんの悩みに応えらえること。ワンちゃんと飼い主さんに徹底的に寄り添う、そのために仁美さんは勉強に勉強を重ね、動物介護士、看護師の資格を取られました。

英治さんはワンちゃんの胴回りや足の長さを1ミリ単位で計測、試乗するワンちゃんの歩き方を見て筋肉の付き方を探り、ベルトの位置や締める強さを調節。動ける脚の力を最大限に使えるよう工夫されています。

「作りは簡単やけど、体に合っていないと犬は不安で歩かれへんからね」

今後容体がどう変化するかまで見極めて、車椅子を何度も買い替える必要がないようにしているとのこと。ワンちゃんの容体が悪化しそうな場合は、最初から4輪の車椅子を勧めたり、時には無理に勧めない場合があったり。

その仔だけの、世界でたった一つの車椅子。小さなその車椅子には、大きくて温かくて深い思いがギュッと詰まっているのです。

介護の悩みや看取りの相談にも耳を傾けて…。

もう一つ仁美さんが力を入れているのが、病気や高齢ワンちゃんの介護相談。車椅子を作りに来た飼い主さんだけでなく、介護に悩むすべての飼い主さんからの相談を、無料で受けておられます。

「人間の介護やったら、ああ大変やねとか、しんどいねって共感してもらえる。だけど犬の介護が辛いって言うても、今の日本ではまだまだ『何ゆうてんねん』という雰囲気があるでしょ。でも、介護するというのは人間でも犬でもしんどいことはいっしょ。それを吐き出す場所があると思います」（仁美さん）

病気や高齢ワンちゃんのケアについて、具体的にアドバイスを求められることもあれば、話を聞いてもらうだけで元気になって帰って行かれる飼い主さんも多いとか。介護に悩む飼い主さんにとって、「スイーピー」はまさに駆け込み寺。

また仁美さんは、ワンちゃんの「看取り」についても飼い主さんの相談にのったり、講演したりしたい、と仰っています。ご自身の経験も踏まえ、「看取りがきちんとできれば、後々ペットロスで長く苦しむことは少ない。そのためのアドバイスやケアをしていきたい」とのことです。

スイーピーちゃんは16歳で亡くなりましたが、工房の名前と川西さんご夫妻が作る「世界に一つだけの車椅子」を残してくれました。スイーピーちゃんと同じく、車いすで走る喜びと生きる力を取り戻したワンちゃんたちの飼い主さんも、素敵なお土産を工房に残してくれています。工房の「試乗車」です。実は「試乗車」はすべてワンちゃんたちの「遺品」。「車椅子でまた走れるようになって、元気を取り戻してくれた。ウチの仔が生きた証。ぜひこのまま使ってほしい」と仰って、飼い主さんたちが寄贈されたものです。

ワンちゃんからワンちゃんへ、走る喜び、生きる力、飼い主さんたちの笑顔が引き継がれて行きます。川西さんご夫妻は、今日も車椅子にそのバトンを載せて、全国へ送り届けておられます。



二輪車



四輪車



工房スイーピー

代表：川西 仁美
〒559-0007 大阪市住之江区粉浜西3-3-16
TEL.06-6678-3333
受付時間：10:00～21:00
URL: <https://www.studio-sweepea.co.jp/>

◀川西英治さんと仁美さんご夫妻

ペットライフネットの



5種類の「わんにゃお信託®」で、 ペットの終生飼育を 実現します。

「わんにゃお信託®」は、大切なペットと終生ともに暮らしたいと願うシニア世代のために創りました。飼い主のあなたに「もしも!」のことが起こった時、あなたの遺志を受け継ぎ、ペットの終生飼育を実現します。

もしもの時、ペットを託せる人がいない方のために…

① わんにゃお定期

すでにペットの終生飼育費用を用意している方に最適です。

② わんにゃお遺言

病気入院や高齢者施設への入居などで、ペットのお世話ができなくなることがはっきりした方にお勧めしています。

③ わんにゃお信託

終生飼育費用を自分名義の定期預金で管理するのが苦手な方には、信託会社にまかせる信託契約をお勧めします。

④ わんにゃお積立

ペットを飼いはじめたばかりで、ペットの生涯飼育費用をこれから貯めていこうと考えている方にお勧めします。

もしもの時、ペットを託せる人がいる方のために…

⑤ わんにゃお民事信託

もしもの時、ペットの世話を頼める方がいる場合に適した方法です。